

尿沈渣分析装置 IDEXX セディビュー Dx 検査結果の確認ガイド



検査結果

セディビューDx(SediVue Dx*)は、高倍率45視野に相当する高解像度デジタル画像70枚を撮影・分析し、定量/半定量結果を提示します。

カテゴリー	検査項目	画像タグ	報告結果					
			検出されない	<1/HPF	定量的数値/HPF			>50/HPF
血球細胞	白血球	白血球 (WBC)	検出されない	<1/HPF	定量的数値/HPF			>50/HPF
	赤血球	赤血球 (RBC)						
細菌†	桿菌	表示なし†	検出されない	存在すると推測される	存在する			
	球菌							
上皮細胞	扁平上皮	扁平上皮 (sqEPI)	検出されない	<1/HPF	1-2/HPF	3-5/HPF	6-10/HPF	>10/HPF
	非扁平上皮	非扁平上皮 (nsEPI)						
円柱	硝子円柱	硝子円柱 (HYA)	検出されない	存在すると推測される	>1/LPF			
	非硝子円柱 (細胞円柱、顆粒円柱)	非硝子円柱 (nhCST)						
結晶	分類不能 (その他の結晶)	結晶 (CRY)	検出されない	<1/HPF	1-5/HPF	6-20/HPF	21-50/HPF	>50/HPF
	シュウ酸カルシウム	シュウ酸カルシウム (CaOxDi)						
	ストルバイト	ストルバイト (STR)						
	尿酸アンモニウム	尿酸アンモニウム (AmmBi)						
	ビリルビン	ビリルビン (BILI)						

†細菌では画像タグは表示されません。

検出されない—成分が検出されていないこと、または分類に必要な特徴が十分でないことを示します。

<1/HPF—検体中に特徴的な構造物が少数見られるが、数が非常に少なく、報告値以下であることを示します。

存在すると推測される—少数の特徴的な構造物 (球菌、桿菌、円柱) が存在するが、「存在する」と判定するには特徴や数が十分でないことを示します。

存在する—検体中に細菌が存在する可能性が非常に高いことを示します。

セディビューDxの詳細な情報はこちらをご確認ください idexx.com/product-info.

メッセージの確認

定量の検査結果に加え、推奨されるネクストステップなどについてメッセージが表示されることがあります。よくあるメッセージ例は以下の通りです。

密集像が見られます。画像を確認し、次のいずれかを行います。

- 画像から臨床像が判断できる場合：希釈の必要はなく、患者記録にコメントを入れてください。
- 中等度の量の細胞または結晶成分がある場合：0.9%生理食塩水で5倍に希釈した後、再測定してください。
- 著しい量の細胞または結晶成分がある場合：0.9%生理食塩水で10倍に希釈した後、再測定してください。

このメッセージは、有形成分が密集し重なっている際に、希釈した検体での再測定を推奨するものです。この場合、定量結果は表示されませんが、画像から十分な臨床判断ができる場合、再測定は必要ありません。検査結果にコメントを加えて対応いただくのを推奨します。

画像をもとに、結果を確認してください。

このメッセージは、焦点が確認できない画像があったことを示します。有形成分が非常に少ない検体や、気泡が含まれる場合、検査器が汚れている場合などで表示され、結果はアスタリスク付きで表示されます。予想した結果と画像が一致しない場合は、再測定を推奨します。このメッセージが複数の検体で続く場合は、検査器のクリーニングを検討してください。

次のいずれかの方法で細菌の有無を確認してください。画像の確認、乾燥固定・染色塗抹標本、尿培養。

このメッセージは、細菌が「存在すると推測される」場合に表示されます。犬・猫の尿検体では非特異的な破片が含まれ、セディビューDxでも塗抹検査でも細菌の評価が難しいことがあります。

臨床症状や病歴、白血球が検出される等細菌尿が疑われ、画像で確認できる場合は、ネクストステップに進んでください。画像で細菌が特定できない場合、その他の追加検査を検討してください。セディビュー(SediVue*)の細菌確認キットの他、乾燥塗抹染色標本または尿培養を推奨します。

注記：同じ患者の尿検体で複数回測定した場合、初回測定から24時間以内であれば請求は1回分のみとなります。

結晶破片が検出されました。

一部の検体では、結晶が多量にあり、その大きさや見た目も様々であることがあります。尿中に多量の結晶が含まれているため、他の沈渣成分の判定に影響を及ぼすことがあります。このメッセージが出現した場合は、細菌に似た微細な粒子の影響を考慮して、細菌の検査結果をより慎重に判断する必要があります。

画像の評価

セディビューDxの定量結果について、必ず画像で確認をしてください。

多くの場合、セディビューDxにより重要と判定され上位に表示された3~6枚の画像を見ることで、臨床判断に十分な情報が得られます。セディビューDxは上位3枚の画像を自動的に保存し、ペットコネクト(VetConnect* PLUS)プラスへ転送します。また、追加で最大3点まで任意の画像を検査結果に保存することができます。

画像の優先順位付け

独自のニューラルネットワークアルゴリズムを用いて、70枚の画像をそれぞれスキャンし、有形成分を識別、分類、および数量を測定します。

各画像は、有形成分の有無と臨床的な重要度に基づいてスコアリングされます。その後、画像はスコアの高い順に並び替えられて、最高点の画像が最初に表示され、最低点の画像が最後に表示されます。

画像の確認

画像を評価する際には、1枚ずつ確認してください。表示される矢印を使い、画像をスクロールしてください。細胞核の確認のためコントラストを反転させる、詳しく見るためズームインする、画像タグを表示させる等の機能を活用してください。



画像タグ

画像に希釈フラグがついている場合、尿が対象外動物種のもの、または尿ではない液体を用いている場合、画像タグは利用できません。

コメントの追加

重要な所見を手動で検査結果に追加することができます。ペットコネクトプラスや顧客情報管理システム(PIMS)に転送することができます。